

## 1. 群馬県地域環境保全基金の残高等

		金額 (単位:円)	備考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	258,768,637	
	内訳	うち、国費相当額	129,384,318
		うち、地方負担相当額	129,384,319
		うち、負担附寄附金等	
②	基金運用益	449,554	
③	その他収入		
④	負担附寄附金等		
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	25,009,661	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	234,208,530	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	117,104,265
		うち、地方負担相当額	117,104,265
		うち、負担附寄附金等	

## 2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備考
⑧	基金残高		234,208,530	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)		175,581,000	
⑩	保有割合		1.334	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠

運用型：運用益見込額÷事業費 (次年度見込額)

取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

## 3. 国庫補助金相当額の国庫返還の可否 (運用型はすべて、取崩型は2. 保有割合が1以上の場合に限る。)

⑪	使用見込額を上回る資金の国庫補助金相当額の国庫返還の可否	否
⑫	返還可能額	
⑬	返還時期	
⑭	返還が困難である理由	今後の事業費は見込みであり、前倒して返還した場合、今後の物価高騰等により事業費の不足が生じるおそれがあるため。また、現在基金条例に返還に関する規定がなく、返還のためには条例改正が必要なため。

## 4. 事業一覧

番号	事業名	合計	事業費		備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
			一般財源等	基金充当額				
1	環境学習	11,189,561		11,189,561		39%	16,521,000	49,563,000
2	生ごみ減量化取組強化	0			休止中		0	0
3	尾瀬サステナブルプラン	13,820,100		13,820,100		43%	42,006,000	126,018,000
4		0						
5		0						
6		0						
7		0						
8		0						
9		0						
10		0						
合 計		25,009,661	0	25,009,661			58,527,000	175,581,000

## 5. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	2018年度から2027年度までの環境学習参加者を195,900人にする。	
	成果実績	78,787
	目標値	195,900
	達成度	40%

令和6年度 事業報告書

事業名	環境学習	新規・継続区分	継続
事項名		開始年度	平成14年度
担当部署	環境森林部環境政策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標(値)

<目的>  
 感受性豊かな小中学生を中心とした「こども」に対し、教材の提供や実験等を通じた体験型の環境学習を行うとともに、地域に密着した環境学習の機会を提供し、身の回りの環境に関する問題を意識づけることにより、自ら環境問題を考え、行動することのできる人材を育成する。  
 また、大人に対しても、環境に関するイベント等への参加により環境学習の機会を提供することで、地域における環境問題に対する行動変容を促す。

<目標>  
 動く環境教室の受講者：年間5,000人以上、10年間で50,000人以上  
 その他環境学習の参加者：5年間で80,500人以上

2. 概要

- 動く環境教室(エコムープ号)や、こどもエコクラブ(群馬県事務局事業)の実施により、小中学生を中心としたこども達に体験的な環境学習の機会を提供する。
- 隔年で、県内の小学校に環境学習の副読本として「こども環境白書」を作成、配布する。
- 地域環境学習事業の実施により、県民が、環境との関わりについて学び、考え、行動するための機会を提供する。

・ぐんま5つのゼロ宣言実現のため、環境SDGsファシリテーター(伝道師)が、県民や企業等に対し、SDGsのゴール13(気候変動対策)を中心とした環境意識の醸成と、地域環境課題の解決に向けた行動を促進する。

3. 根拠法令等

環境教育等による環境保全の取組に関する法律

4. 実施内容等

- 動く環境教室(エコムープ号)
  - 小中学校からの要望に応じ、実験機材等を搭載した「エコムープ号」を派遣。
  - ボランティアの「環境学習サポーター」が講師を務め、地球温暖化・省エネ・水等の環境問題やSDGsについて、実験を中心とした体験的な環境学習を実施。
- こどもエコクラブ(群馬県事務局事業)
  - 毎年8～9月に自然観察を中心とした「おもしろ体験してみ隊」を、毎年1月に県内のエコクラブの活動を発表する交流会を開催。
  - 年間の活動をまとめた活動事例集を発行。
- 環境学習の副読本として、「こども環境白書」を作成し、県内の小学校に配布(隔年)。
- 地域環境学習推進事業
  - 環境団体等から提案された企画の中から10企画を選定し、身近な地域における環境イベント等の実施を委託。
- 地域における環境・SDGs推進事業
  - 本事業をより一層推進するため、積極的に活動できる環境SDGsファシリテーター(伝道師)を新たに10名養成(計30名)。当該ファシリテーターが市町村等と連携して行う県民・企業向けの講座やワークショップの活動を支援。
  - 既存コンテンツ(脱炭素まちづくりカレッジ)で伝えにくかった層を含め波及対象者を拡大するため、新規コンテンツ(ショートプログラム)を開発。
  - 日々の生活の中でどのくらい二酸化炭素を排出しているか簡易算出できる脱炭素アプリ「群馬県版マイCO2シミュレーター」を活用。
  - 環境SDGsに関心を持った人々のコミュニティを構築するため、県内で地球にやさしい暮らしを実践する隣人たちが学び、交流するイベント「グリーンネイバース群馬」を開催。

5. 事業費等

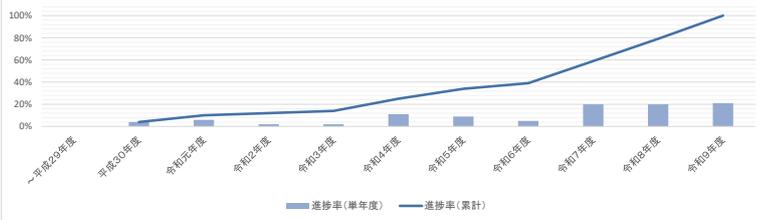
	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	1,509,685		1,509,685	
旅費	0			
需用費	560,786		560,786	
役務費	71,530		71,530	
委託料	9,031,160		9,031,160	
使賃料	0			
備品費	0			
公課費	16,400		16,400	
合計	11,189,561	0	11,189,561	(単位:円)

年度(単位:千円)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		2,257	4,452	2,315	2,514	41,153	11,811	11,190	16,521	16,521	16,521
事業費(累計)		2,257	6,709	9,024	11,538	52,691	64,502	75,692	92,213	108,734	125,255

6. 進捗状況等

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		4%	6%	2%	2%	11%	9%	5%	20%	20%	21%
進捗率(累計)		4%	10%	12%	14%	25%	34%	39%	59%	79%	100%

進捗状況



令和6年度 事業報告書

事業名	尾瀬サステナブルプラン（R2まで尾瀬学校）	新規・継続区分	継続
事項名	尾瀬ネイチャーラーニング	開始年度	平成30年度
担当部署	環境森林部自然環境課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<目的>  
 県内の小中学生に対して、尾瀬又は芳ヶ平湿地群での質の高い自然体験による環境保全の意識の醸成に、STEAM教育（※）の要素を取り入れた事業を実践し、環境保全への「自覚」「行動」を促進する。また、地域の環境保全活動の推進役ともなっているガイドに対して多様な機会を提供することで、担い手の確保につなげるとともに、ガイドのスキルアップにつなげ、地域の環境保全活動の推進役となる人材を育成する。  
 ※科学、工学、技術、芸術、数学等の各教科での学習を実社会での課題解決に活かしていくための教科横断的な教育

<目標>  
 尾瀬ネイチャーラーニングへの参加者：年間6,000人以上、尾瀬学校の実績を含めて10年間で60,000人以上

2. 概要

スタンダード（現地学習）  
 ・県内外の小中学校、その他団体等がSTEAM教育を実践し、尾瀬等において少人数のグループで一定の要件を有するガイドを伴った環境学習を実施する場合、その経費の一部に対し補助金を交付する。  
 デリバリー（講師派遣）  
 ・県内の小中学校、その他団体等が県内各地でSTEAM教育の実践による環境学習を行う場合に、講師を派遣する。

3. 根拠法令等

4. 実施内容等

県内外の小中学校等が尾瀬等においてガイドを伴った環境学習を実施する場合、学校の設置者（市町村・学校法人）等に対してガイド料及びバス代等の補助を行った。（参加学校数：42校、社会教育団体数：1団体、参加人数：1,873人）  
 「尾瀬ネイチャーラーニング補助金交付要綱」に基づき算出した補助対象経費の合計額に補助率（1/2または2/3）を乗じた額を交付した。  
 事業の実施にあたっては、県教育委員会で作成した学習プログラムを参考に、学校等でガイドによる事前学習を行い、当日は児童生徒約8人に対し一人のガイドを配置し、きめ細やかな解説を行う。学習プログラムでは事後学習にも触れ、教育の一環として学習効果が高まるよう配慮している。

5. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
報償費	0			
旅費	0			
需用費	859,375		859,375	
役員費	99,990		99,990	
委託料	3,489,629		3,489,629	
使賃料	0			
備品費	0			
負担金・補助金	9,371,106		9,371,106	
合計	13,820,100	0	13,820,100	（単位：円）

年度（単位：千円）	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費（単年度）		39,500	16,024	3,015	12,939	13,677	13,820	42,006	42,006	42,006	
事業費（累計）		0	39,500	55,524	58,539	71,478	85,155	98,975	140,981	182,987	224,993

6. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率（単年度）		15%	13%	3%	1%	4%	4%	3%	19%	19%	19%
進捗率（累計）		15%	28%	31%	32%	36%	40%	43%	62%	81%	100%

